



平成 28 年 4 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社ピーエス三菱
代表者名 代表取締役社長 藤井 敏道
(コード番号:1871 東証第一部)
問合せ先 執行役員管理本部長 小山 靖志
(TEL.03-6385-8001)

株式会社亀田組及び株式会社進興の事業再生に スポンサーとして参画することのお知らせ

当社及び当社の100%子会社である株式会社ニューテック康和(以下「ニューテック康和」)は、株式会社地域経済活性化支援機構(以下「機構」)が4月5日付けで再生支援を決定した株式会社亀田組(以下「亀田組」)と株式会社進興(以下「進興」)の事業再生にスポンサーとして参画することを決定しましたので、下記の通りお知らせ致します。

記

1. 支援の目的

亀田組は、主に関西地区においてプレストレスト・コンクリート(以下PC)橋梁工事での土木工事請負業を営んでおり、長年の業歴にて培ってきたPC専門工事会社としての技術力や工事品質は高く評価され、登録PC基幹技能者の在籍数は全国でもトップクラスとなっております。

しかしながら、過去の公共事業発注量の大幅な変動等によって収益環境が大幅に悪化し、事業規模拡大時での有利子負債を多く抱えている状態であり、事業継続を図るためには抜本的な経営改善が不可欠な情勢となっております。

亀田組の主要な取引先である当社においては、現在、建設需要の増加に伴い建設技能労働者の不足及び高齢化が顕著であり、今後の当社の事業展開の上で、熟練の建設技能労働者と新たな働き手の確保と育成は必須の課題となっております。

このような中、亀田組及び進興とそのメイン行である株式会社近畿大阪銀行とともに、当社とニューテック康和が事業スポンサーとして機構に事業再生支援を共同で申し込んだところ、機構より再生支援決定がなされたものです。

2. 再生のストラクチャー

亀田組を存続会社、進興を消滅会社とする吸収合併を行い、その後、当社100%子会社である株式会社ニューテック康和が、新たに設立する新会社に対して、今後の事業展開上必要とされる資産と事業継続に係る権利義務の全てを、吸収分割により承継させる予定です。併せて、当社グループから数名の役員を派遣し、経営指導と経営管理を行うことで、本事業再生の支援に努めていきます。

また、亀田組のコア事業であるPC橋梁上部工事業への経営資源の集中を行うとともに、高い技術・技能レベルを持つ従業員の雇用を維持し、高品質な施工体制を確保し、当社グループの支援により、受注増及び売上の安定化を図っていく所存です。

3. 関係当事者の概要

(1) 株式会社 亀田組

①所在地	大阪市阿倍野区松虫通1丁目11番13号
②主な事業内容	橋梁工事・一般土木工事、運送業
③資本金	1億円
④設立	1970年12月
⑤代表者	代表取締役会長 亀田 透 代表取締役社長 亀田 國紀
⑥主要株主	亀田 透(持株比率 25.0%)、 亀田 國紀(持株比率 12.5%)
⑦従業員数	145名(2015年12月末)
⑧財務状況	2015年12月期 売上高:2,217百万円 経常利益:▲57百万円 当期利益:▲63百万円 総資産:1,927百万円 純資産:▲272百万円

(2) 株式会社 進興

①所在地	大阪市阿倍野区松虫通1丁目11番13号
②主な事業内容	生コン・型枠等の仕入・販売
③資本金	1千万円
④設立	1988年7月
⑤代表者	代表取締役社長 亀田 實
⑥主要株主	亀田 透(持株比率 94.0%)
⑦従業員数	7名(2015年12月時点)
⑧財務状況	2015年12月期 売上高:287百万円 経常利益:2百万円 当期利益:▲5百万円 総資産:136百万円 純資産:10百万円

(3) 株式会社 ニューテック康和

①所在地	東京都北区東田端2丁目1番3号
②主な事業内容	土木・建築工事の請負ならびに設計、施工管理 舗装工事業
③資本金	9千万円
④設立	2007年10月
⑤代表者	代表取締役社長 佐藤 幸一
⑥主要株主	当社(持株比率 100%)
⑦従業員数	91名(2015年3月末)
⑧財務状況	2015年3月期 売上高:4,432百万円 経常利益:99百万円 当期利益:52百万円 総資産:2,204百万円 純資産:482百万円

4. 今後の見通し

本件による当社の業績への影響については精査中であり、開示すべき事項が判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上